

白根北中学校
学校だより

教育目標
自立 友愛 勇気



偽りの『皆勤賞』

高校卒業まで暮らしていた私の実家は通っていた高校の隣にありました。距離にして約30m。電車で通学してくる仲間たちにうらやましがられた3年間でした。

「チャイムが鳴ってからでも

間に合うね」と、いつもから

かわれていました。大げさ

ではなくそれくらいすぐ

近く。高校の校内放送は

家の中からも聞きとれるほど

でした。休日の部活動で1日練習が

ある時はお昼休みに一度帰宅して

お昼ご飯を食べ、一休みしてから、

午後の練習に参加していました。



当時の高校には『皆勤賞』という

ものがありました。3年間、無遅刻、

無欠席の生徒が卒業式の前に表彰

されるのです。卒業証書でもなく、

大学の合格通知でもないにも関わ

らずなぜか私たちは（多分、先輩や

後輩たちもみんな）『皆勤賞』を受賞

することは「すごいこと」だと受け

止めていました。

特に電車で通学する仲間たちは

『皆勤賞』をもらうのは「不可能」

くらいに捉えていました。3年間、

風邪をひくこともなく、寝坊せずに

起きて、登校の準備をし、遅れずに

電車に乗り、暴風雨の時でも駅から

高校まで歩いて向かうことを考え

れば「不可能」と感じるのも分かる

気がします。

それに比べて我が家は玄関から走れば教室までは数十秒。仲間から『皆勤賞』は確実だなと言われ、自分も健康に気をつければ大丈夫だと考えていました。しかし…

1年生の冬のこと。高校生活にも慣れ、緩んだ気持ちがあらわれたのでしよう。その朝、寝坊したのです。皮肉なことに高校から聞こえるチャイムで

目を覚ましたものの

さすがにこれでは間に

合いません。慌てて支度を

して登校すると、既に担任の

先生が朝学活を始めていたところ

でした。これで、私の『皆勤賞』は

なくなったのでした。



「なんだお前、家が学校の隣なのに遅刻したのか」

「ほんの数分だろ。もったいないな」

「俺が消しておいてやるよ」

そう言うと、出席簿にあった遅刻の

印を消してくれたのです。

その後の2年間、何とか無遅刻、

無欠席で過ごした私は『皆勤賞』を

受賞しました。しかし、どこか割り

切れない気持ちだけが残りしました。

◆ 失敗の活かし方 ◆

「昔に戻れるとしたら…？」この

年齢になっても時折、思い返します。

以前は、「寝坊したあの日に戻って

自分を起こす」でした。でも今は、

2年生の担任の申し出に対して、

「それは自分のためになりません

から、お断りします」

と、格好つけて言いたいなと考えて

います。失敗を繰り返さないことは

もちろん、失敗をどう活かすのかを

学んだ出来事でした。

◆ 2つ目の失敗 ◆

翌年、学年が上がり2年生になりました。春先の教育相談で、当時の担任は私にこう言いました。

◆ 生徒のコメントから ◆

先週、先々週と行った全校集会の後で、生徒がタブレットに輸入してくれたコメントの一部の紹介です。

● 学校は、みんなが安心して過ごせる場所のはずなのにこんな怖いことが起きて安心できない。

● 何回も先生から話を聞いているのに、何回も何回もやるんだろう。

● 全校集会も2回目でみんなの時間を奪っている事に気付いてほしい。

● 自分が通う学校でこのようなことが何回もあって悲しい。

● 今回の件でトイレから燃え広がって学校が全部焼けてしまったら僕らの学校がなくなってしまうと思うと、涙が出てきます。

● 学校生活を安全に送りたいのにイタズラをする人がいてとても残念です。

● このようなことがあったら学習する場が失われるかもしれない。3年生は受験生で大事な時期で怖い。

全校生徒が顔を上げてしっかりと

耳を傾けてくれていました。信頼や伝統を築いていくことは簡単ではありません。でも、足元を見つめてもう一度1つ1つ積み上げていくしかありません。

周りの大人は心配して注意することはできます。しかしそれを受け止めて判断し、行動に移すことは、自分にしかできません。そしてその判断基準は「注意されるから」でも「誰かが見ているから」でもありません。ただ1つ「周囲に左右されず自分は正しい道を行くのだ」という強い気持ちだけです。中学生時代は勉強と同時に、この強い信念を身に付けていく時期でもあります。

保護者の皆様には心配なことを多々お伝えした約4か月でしたが、個人としても全体としても、大きな成長も見られたこの4か月でした。皆様のご理解とご協力に感謝申し上げます。

◆ 第2回 学校運営協議会 ◆

7月9日(木)に今年度2回目の学校運営協議会が行われました。

今回は委員の皆様と代表生徒による熟議です。主なテーマは「それぞれの放課後の過ごし方」でした。部活動の地域展開が進み、大人世代とは異なった状況の中、どのように時間を使うことができるのか、意見交換しました。委員の皆様からは、生徒の皆さんが思いのほか忙しく時間を有効に活用していることが分かったという声がありました。

◆ 教育懇談会、お願いします ◆

明日23日(木)～28日(火)

まで教育懇談会が行われます。限られた時間ですが、

よろしくお願いいたします。なおエアコンの設置工事やトイレの改修工事が行われているため、ご来校の際はご注意ください。



夏の訪れとともに、毎週末の早朝の角田登山は今、午前4時頃には登り始めています。先週、薄暗がりの中、今年初めて、蜩(ひぐらし)の鳴き声が聞こえてきました。わずかな先までしか見通せない登山道で幻想的な気分を味わいました。皆さんもどうぞ、充実した夏休みを。



令和8年7月22日(水)

令和8年度 第9号

文責 校長 山口 靖博

